

「話のたねのテーブル」より

山野草あれこれ (2)

廣田伸七

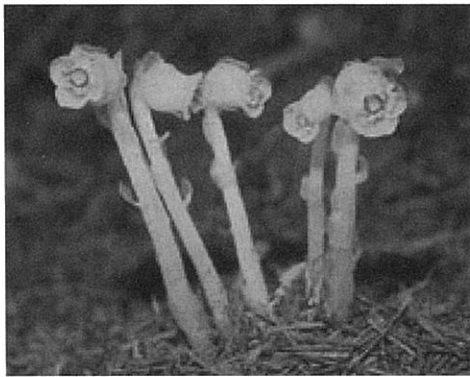
ギンリョウソウ<イチヤクソウ科>

別名ユウレイタケと呼ばれるギンリョウソウは、山地で他の草が育ちにくいような日陰に生育し、全体が純白色で、まさにユウレイを思わせるような腐生植物である。

根は褐色のかたまりで、そこに菌類が共生し、それによって養分を吸収する。茎がひと株に数本直立して高さ8~12cmになり、葉は鱗片状で下部に密につける。葉や茎、花はすべて純白色で、銀色の竜が首を持ち上げたように見えることから「銀竜草」の名がある。夏に茎の先に苞葉に包まれた下向きの花を1個つける。

ツメレンゲ<ベンケイソウ科>

鉢植えにして盆栽にしたいような植物で、

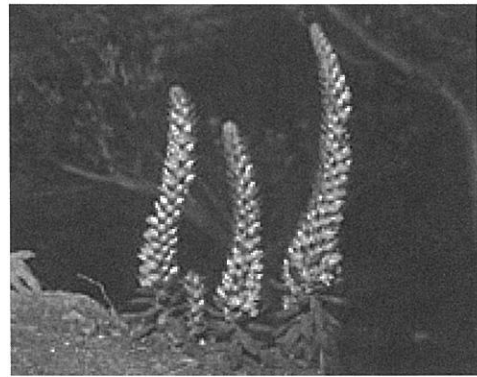


▲ギンリョウソウの花が咲いた姿、全体が純白でユウレイを思わせる

山地の乾いた岩の上や岩の隙間、河川敷、古い瓦屋根などに生育する。葉は根本に密につき、細長く先が尖り、厚みがあってやや白みを帯びる。9~10月に、茎の先に長いものでは15cmくらいになる総状花序を出して多数の小花を密につけ、下から順に咲きあがる。がく片、花弁はともに5個、雄しべは10個で葯が暗赤色で目立つ。秋に株元に子苗をつくる。葉先の尖った形が獣の爪のように見え、葉の重なり方が仏様の台座の蓮華に似ていることから「爪蓮華」の名がある。

姿が面白いので乱獲により減少が著しく最近では絶滅が心配される。

(話のたねのテーブル No.224 より)



▲ツメレンゲ、花は下から咲きあがり、雄しべの暗赤色の葯が目立つ

公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 理事長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成25年11月発行定価525円(本体500円+消費税25円)
植調第47巻第8号 (送料270円)

印刷所 (株)ネットワン